

幼少期からの反復症状と全身浸出期を経て長期的に皮膚状態が安定した成人アトピーの経過 (31 歳 成人)

症例 ID：001-30-NY4 | 記録日：2015 年 11 月 4 日

1. 診断・治療前経過

幼稚園頃から肘内側、膝裏、口角に症状があり、リンデロンを使用しました。中学頃から顔と首の乾燥、落屑が強くなりました。

大学3年時には体温上昇で全身に蕁麻疹が出るようになり、海外留学中に大量の外用薬を処方されました。帰国時に薬を失った後、顔と首を中心に強い悪化が起こりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期からリンデロンなどのステロイド外用薬を使用しました。
製品名	リンデロン。海外で処方された製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼稚園期から成人期まで断続的に使用しました。
中止時期	海外からの帰国時期です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼稚園～中学期	慢性経過	関節部、口角、顔、首へ症状が広がりました。
大学3年	蕁麻疹	体温上昇で全身に強いかゆみと蕁麻疹が出ました。
帰国時	薬剤中止後の悪化	顔の落屑、浸出液、首の強い痛み、体幹のかゆみが出ました。
松本医院受診後	治療開始	家族とともに治療を開始しました。
治療初期	ピーク	全身から浸出液が出て、指が腫れ、手袋が必要となりました。
8年後	経過後	全身の強いかゆみは遠い記憶となり、指先の軽い症状などを除いて安定していました。

4. ピーク時期

ピークは、薬剤中止後から治療初期に、顔と全身から浸出液が出て、首が動かしにくく、全指が腫れた時期です。

5. 困りごと

- 顔と首の痛みで首を動かしにくくなりました。
- 指の腫れと亀裂で洗髪時に手袋が必要でした。
- 全身症状が長く続きました。

6. 経過のまとめ

治療開始から8年後には、全身の強いかゆみはほとんどみられなくなりました。

時折指先の症状などが出るものの、皮膚状態は長期的に安定していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。